

上福岡教会 CS こひつじ科 - 合同<sup>[SEP]</sup>の礼拝式次第

**2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」**

**テーマ曲： ワワワいっしょに (92番)**

**暗唱聖句：「主はわたしのひつじかい。わたしはとぼしいことが  
ない。」** —詩編 23編 1節—

2022年2月13日

この礼拝の動画へのリンク：<https://youtu.be/NmJZHvp7eI4>

- ・さんび：**7、すずめやはとを**（下を参照）
- ・おいのり（今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。）
- ・せいしょ マタイによる福音書6章11節（新約聖書9頁）
- ・おはなし 「たべものをそなえるかみさま」 ローレンス・スパーリンク 宣教師

では、今日も神様のみことばである聖書から学びましょう。

上福岡教会の教会学校では最近、有名な「主の祈り」について学んでいますね。「祈りの時にはこのように祈りなさい」と、イエス様がご自分の弟子たちに教えた祈りです。では、はじめに、今日の聖書朗読箇所を一緒に読んでみましょう。いつも教会の礼拝の終わりに祈っている主の祈りは、古い日本語ですね。今回読むのは近代日本語です。ご注意ください！では、一緒に声を出して読みましょう。

→ → → → →

→

今日は主の祈りの中で特に見たいのは、いわゆる「第4の祈願」、つまり、4番目の願いです。

「わたしたちに必要な糧を今日与えてください。」

「糧」というのは食べ物のことです。私たちに必要としている食べ物を今日お願いします、という願いですね。ごく当たり前のように思われる願いです。けれども、実は、とても深い意味がここにあります。どういふことでしょうか？聞いてくださいよ！

天地万物をお造りなされた神様は最初の間人アダムとエバのために、あらゆる実を結ぶ木々がいっぱい生えているエデンの園を準備して、そこに住むように案内しました。アダムとエバはどんな美味しいものをいつでもただで、取って食べることができました。神様の愛のプレゼントでした。でも、神様に背いて、禁じられた木の実を食べたので、二人はエデンの園から追い出されました。そして神様は、それ以降は人が自分の汗を流しながら、棘だらけの土を耕して、自分の食料を、つまり、苦勞して、苦勞して、日々の食べ物

マタイによる福音書 6章 9-13節

こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地上にも。わたしたちに必要な糧を今日与えてください。わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』

を作らなければならいとおっしゃいます。その後は実際にそうなるのです。悲しいことです  
ね。

でも、不思議なことになりました。イエス様が救い主として生まれて、神様から食べ物  
を求めなさいと、今日の主の祈りで教えてください。汗を流したり、苦勞したりし  
て、今日は十分な食べ物が得られるか、空腹の辛いままにいるのか、心配だ！というこ  
とではありません。自分の努力ではなく、すべてを与えてくださる恵み天のお父様から与  
えられるよ、と教えてください。もちろん、仕事に励んでお金を設けて、スーパーに  
行って、農家の方々が作った野菜などを買って、食事の準備を済ませて食卓を囲みます。  
ここにも色々な人の努力があるのです。これも感謝です！けれども、イエス様が教えてく  
ださった祈りのように、まず、罪の裁きとしてエデンの園から追い出されたのに、神様は  
私たちの罪をお赦しくださるお方で、私たちを守り、食べ物、飲み物、着るもの、住む  
家、数々のところで、私たちに気を配ってください。だからイエス様は別のところ  
で、心配するな。あなた方の頭の髪の毛の数を覚えておられるほど、あなたを愛して、守  
ってくださる天のお父様がいますからです。羊飼いが羊の群れを良い牧草が生えている牧場  
に導くように、天のお父様は私たちを大事にしてください。だから、「あつ、今日も汗を  
流して苦勞の日が続くなあ、辛いなあ」という思いは不要です。「お父様、ありがとう。  
いただきまーす。」と言えるのです。

ところで、時々、十分な食事が頂けない、困っている人がいると聞きますね。もしかし  
て、私たちもそのような辛い経験をしたことがあるかもしれません。その時はどうしたら  
いいでしょうか。その時に、神様からいただいている必要以上の豊かさの中から、困って  
いる人に分け与えることです！彼らにも神様の恵みの備えを味わわせます。詩編の23編  
の言葉を思い出しました。「主はわたしの羊飼い。わたしはとぼしいことがない。」そし  
て、その困っている方に言いましょう。「私の羊飼いイエス様のおかげで、こんなにある  
のだから、あなたもどうぞ、その恵みの豊かさをもらってくださいね。」そうすれば、天  
のお父様のお名前を一緒に賛美することになるのではないのでしょうか。罪の悲しい結果か  
ら救われるに違いありません。

・一言をご一緒に祈りましょう！

恵み深い 愛する天のお父様、イエス様のおかげでいつも私たちのことを大事にし  
て、私たちの祈りを聞いてくださることを感謝します。本当にどの時にも私たちの祈りに  
耳を傾けてくださり、聞き入れてくださることを今日も確認しました。食べ物をください  
と天のお父様に願いなさいとイエス様が教えてくださいました。主の愛を日に日に味わっ  
ています。今日も、また明日も、主の備えてくださることを信じます。私たちも天のお父  
様のようになり、良いものを恵まれない人々に分けて、あなたが良き羊飼いでおられるこ  
とを知っていただけますように。イエス様のお名前によってお祈りします。 アーメン。

・けんきん：献金を取っておきましょう。会堂2階掲示板下の机にこひつじ科の献金箱を  
設置しました。おいでの際にこれを用いて まとめた献金をおささげください。

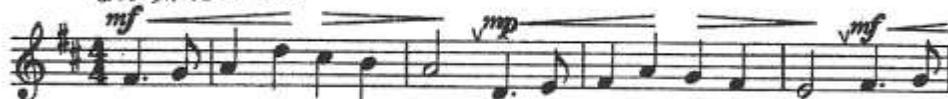
・さんび **55、愛、あい、アイ**（下を参照）

いの もくとう かみさま すくって しん かんしや  
・お祈り（黙禱をもって神様が救ってくださることを信じ、感謝しましょう。）

## 7 すずめや はとを

ミルトン 原詞  
由木 康 訳詞 1966  
なめらかに ♩=112

チボ一作曲



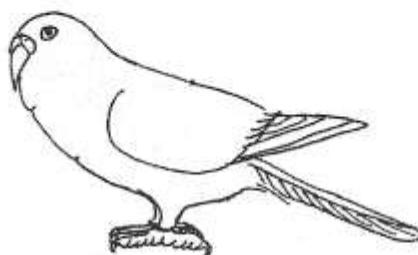
1. すずめや はとを おそだてなさるめぐ
2. やみのなかにも ひかりをてらすさか
3. つきをのぼらせ ほしをみちびくちか
4. わたくしたちを おまもりなさるめぐ



- みのかみを と も に う た おう  
 えのかみを と も に う た おう  
 らのかみを と も に う た おう  
 みのかみを と も に う た おう

(神)

1. すずめやはとを おそだてなさる  
めぐみの神を 共にうたおう
2. やみのなかにも 光をてらす  
さかえの神を 共にうたおう
3. 月をのぼらせ 星をみちびく  
ちからの神を 共にうたおう
4. わたくしたちを おまもりなさる  
めぐみの神を 共にうたおう



## 55 愛・あい・アイ

The musical score is written in treble clef with a common time signature (C). It consists of five staves of music with Japanese lyrics underneath. Chord symbols are placed above the notes. The first staff has a C Major 7 chord and a D minor 7 chord. The second staff has D minor 7/G, C Major 7, and a first ending with D minor 7 and D minor 7/G. The third staff has a second ending with Bb Major 7/C, C, F Major 7, F minor Major 7, and E minor 7. The fourth staff has E minor 7/A, D minor 7, a first ending with D minor 7/G, and C Major 7. The fifth staff has Bb Major 7/C, C, a second ending with D minor 7/G, C, and Eb, Bb/D, C.

1. 2.

いつだってー そそがれるー 主の愛 あいーアイー  
 だれだってー もとめてるー 主の愛 あいーアイー

1. 2.

生きるためー ひつようなーものは 愛 あいーアイー  
 あいされるー よろこびをー知った 愛 あいーアイー

2.

ああ 生きててよ かった ね こんな出  
 ああ 生きててよ かった ね きみはか

1. 2.

会 い が あ る きみはあ い される た め 生まれ  
 み さ が の 子 あいされ

2.

た んだー て い る ん だ